

第2回 横浜市港北公会堂指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	平成30年8月20日(月) 9時30分～12時10分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	鈴木委員長、岸委員、小林委員、坂田委員、白石委員、平賀委員、山口委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者3人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定 3 その他
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 港北公会堂運営管理グループ(代表団体:株式会社サンワックス)を横浜市港北公会堂第3期指定管理者の指定候補者に決定する。 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(2団体)について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。</p> <p>～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p>【団体A】</p> <p>(委員) 貴団体は、音楽活動とのコラボレーションを行っているのか。</p> <p>(応募団体) アーティストを施設に派遣し、演奏会や音楽教室を実施している。</p> <p>(委員) 初年度目標稼働率76%となっているが、29年度実績は81.8%である。算出の考え方を教えてほしい。</p> <p>(応募団体) 申請書には26～28年度実績平均値をベースに算出した。自主事業でプラス6%を目指している。</p> <p>(委員) 自主事業数150とあるが、地元団体との連携はどのように考えているか。</p> <p>(応募団体) 地元の団体や大倉山商店街、大倉山記念館と連携し、ロビーやホワイエも活用して展開したい。</p> <p>(委員長) 独自の長寿命化対策とあるが、具体的な内容を教えてほしい。</p> <p>(応募団体) 弊社独自で予防保守を行うチームがある。年に4回程度巡回して定期点検を行い、躯体診断、小修繕を実施する。</p> <p>(委員長) 災害時の対応について、具体的な内容を伺いたい。</p> <p>(応募団体) 港北公会堂は帰宅困難者一時滞在施設になっているので、職員による対応や備蓄品の提供を行い支援する。区とも連携を図りながら行う。</p> <p>(委員) 公会堂の中にちょっとした飲食ができるとよいと思うが。</p> <p>(応募団体) 障害者団体と連携し、パンの販売などできればよいと考えている。</p>

現場を見ていると、公会堂は待ち合わせの場所にもなっているので、その面でも何か充実させたい。

(委員長) 施設の利用にあたり、受付の公平と利便性を高める点を両立するのは難しい面もあるが、工夫点や利用者のサービス水準向上をどのように考えているか。

(応募団体) 受付の公平性に関しては、利用率が高い施設なので予約の段階で抽選になると考えられるので、そのあたりの要望を把握したい。利便性の向上に関しては、QRコードを使って簡単に意見投稿ができる機会を設けることで、利用者の生の声を把握したい。

(委員長) 現指定管理者が行っている予約方法は継続するのか。

(応募団体) はい。利用者の混乱を避けるため継続する。

(委員) 音楽教室ではチェロと限定されているが、幅を広げる予定はあるのか。

(応募団体) チェロ以外の楽器やコーラスも行う予定である。

(委員長) 平成32年度は工事による長期休館が予定されているが、稼働率はどのように考えているか。

(応募団体) 10カ月の休館と聞いているので、残り2カ月間の利用率として目標を入れている。

(委員長) 2019年、2020年とイベントの増加が予想される。港北区内のイベントにも影響が出てくると思うが、どのように考えているか。

(応募団体) 区内イベントと利用者を優先したい。ロビーを活用した自主事業も展開できる。あとは、和室の年間利用を見ると、月曜日と金曜日は予約が埋まるのが遅いので、そこにも自主事業を入れていきたい。

(委員長) 講堂の利用料金を「昼間」から「午前・午後」にすることで、午前のみ、午後のみ利用を可能にしているということか。

(応募団体) コマ数を増やすことで、利用しやすくなると考えている。時間帯の選択肢を増やすことで、新規団体の利用も取り込みたい。

【団体B】

(委員) 29年度の利用率が上がっているが、要因は何か。

(応募団体) 近隣区の公会堂が工事で休館だったため、その影響が考えられる。30年度は利用率が少し下がるかもしれない。やはり、利用者にとっては近隣の公会堂を使いたいという希望がある。

(委員) 自主事業に今まで取り組まなかった理由は。

(応募団体) 今回の公募要件から自主事業について加わったこともあるが、予算的には厳しい面もある。

(委員長) SNSやインターネット活用についてはどのように考えているか。

(応募団体) ホームページ上のブログで情報発信している。ツイッターやフェイスブックの活用は提案には入っていないが、盛り込んでいきたい。

(委員長) 利用の1週間前になっても予約で埋まらない部屋は開放するとあるが、情報提供しないと空いていることもわからないと思うが、どのように行うのか。

(応募団体) ホームページのトップページへの掲載や、施設への掲示を考えている。また、近隣施設の運営団体と連携し、情報共有を図っていきたい。

(委員) 講堂利用料について、「午前 9:00～12:00」「午後 13:00～22:00」という提言をされている。現状だと「午前午後」と「夜間」で区切っているが。

(応募団体) 例えば、夕方からの講演会を実施するには、現状だと午後のみで区分がないため、実際利用しなくても午前から借りないといけない。利用者の幅を広げ、多くの方に利用していただきたいと考えている。

(委員長) 地域と公会堂のつながりについて、今までどのように構築してきたか、今後どのようにしていきたいかをお伺いしたい。

(応募団体) 区内町内会にもご利用いただいていたので、その際にご希望やご意見をお伺いしてきた。

今後は、区社会福祉協議会との事業協力について協議を行っている。

また、「港北公会堂周辺飲食店マップ」を作成し、公会堂利用者にご活用いただいているが、今後の運用に関して大倉山商店街振興会にもご指導いただくことになっている。

(委員長) 平成 32 年度に 10 か月間の休館が予定されているが、休館時の対応について伺いたい。

(応募団体) 講堂や諸室の運営は止まるが、優先予約の受付などあるので、窓口業務は対応する。受付や利用相談に影響が出ないよう、スタッフが常駐する。

2 指定候補者の選定

(1) 過去 3 年の貸借対照表・損益計算表から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 各委員より評価の考え方を述べた上で、それぞれの点数を各委員の評価にすることを確認した。

(3) 採点結果 (最低基準点は 6 割の 672 点)

団体名	採点結果
港北公会堂運営管理グループ	978 点
株式会社シグマコミュニケーションズ	903 点

1,120 点満点中

最低基準点 672 点 (6 割)

最低基準点を満たしており、港北公会堂運営管理グループが横浜市港北公会堂第 3 期指定管理者の指定候補者として決定された。

(4) 委員からの審査講評

両団体でそれぞれ姿勢の異なる提案内容だった。

港北公会堂運営管理グループは、地域との連携と自主事業に重点を置き、株

	<p>式会社シグマコミュニケーションズは施設の維持管理に重点を置いた内容で、両団体で提案のアプローチ方法が異なる中での選定だったが、結果としては港北公会堂運営管理グループの積極的な姿勢が高評価につながった。</p> <p>区においては、指定管理者として決定した際には、港北公会堂運営管理グループの積極性をくみ取るような協議をしていただきたい。また、委員よりホワイエを休憩場所として活用してほしいといった指摘もあったが、このようなことは指定管理者だけではなく、行政との協働との中で実現できることかと思う。我々選定委員の意向も汲んだ協議内容としていただきたい。</p> <p>また、両応募団体共に講堂の利用料金区分の提案がなされているので、前向きに検討していただきたい。</p> <p>指定管理期間中にラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピック、長期休館と管理運営が難しい時期に指定管理者が交代するということになり、厳しい立場での運営になるということを理解した上で見ていきたい。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。</p> <p>(2) 委員各位と応募団体との利害関係がないことを確認した。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料 次第及びタイムスケジュール</p> <p>2 特記事項 なし</p>